

(一財)環境事業協会では、海、源流域、下流域、とそれぞれの自然環境と私たちの暮らしのつながりを学ぶ

体験型イベントを開催しています。

右のイベントは、親子で「水」をテーマに身近なフィールドで、楽しいアクティビティと共に体験して学ぶ「MIZUBE キャラバン」シリーズ。(2021年～現在)

2025 年は、パタゴニア環境助成を活用し、都市域を後背地に持つ大阪湾及び関連流域をフィールドに、海と人・街とのつながりを再構築、『陸と海のつながりから都市の暮らしを再生 (Regeneration) する』事業の中で MIZUBE キャラバンを開催予定。

イベントの最新情報は

当協会 HP に掲載します。 HP▶



親子で「水」をテーマに体験して学ぶ

MIZUBE キャラバン

この夏、海ごみのこと、水が生まれる森のこと、身近な川にすんでいる生きもののことを親子と一緒に学びませんか？
海、源流域、身近な河川、それぞれの自然環境とくらしのつながりを楽しいアクティビティ体験と共に体験できる4回連続のプログラムを開催します。

ワクワク！水辺ワークショップ 全4回

第1回	第2回	第3回	第4回
みんなの海ごみクリーン大作戦 in 友ヶ島	みんなの海ごみアートブック作り	水源地を見に行こう！ 奥河内リバートレッキング	SUP ボートで水都探検！ 生きものいてるかな？
6月18日(土) 8:30～18:30 ※荒天予備日 6月19日 場所: 友ヶ島	7月16日(土) 13:30～15:30 場所: β本町橋	7月26日(火) 8:30～16:30 場所: 河内長野	8月3日(水) 9:30～12:30 場所: 湊町船着場▶β本町橋

東横川でトライ

対象 | 大阪府内在住・在学の小学1～3年生の親子 ※4回全て参加できる方
定員 | 10組 20名 (大人1名・子ども1名) ※抽選
参加費 | 4回で12,000円/組 | 申込締切 | 2022年5月26日(木)
<第1回・第3回は「長堀橋駅」徒歩5分の環境事業協会本社前から貸切バスで移動>

主催: 一般財団法人 環境事業協会 旅行企画・実施: 岸和田観光バス株式会社 協力: 一般社団法人 加太・友ヶ島環境戦略研究会/AMO.design / いきよ! 奥河内自然学校/ NPO 法人 里山倶楽部/一般社団法人 日本シティサップ協会/株式会社 海洋生態研究所/和歌山市観光課

令和の里海づくり

一般財団法人 環境事業協会

“海の万博”が開催される大阪湾奥部と人・街を“つなぐ”プロジェクト

地域概要及び課題

- 湾奥部の港湾エリアの中にある貴重な干潟。
- 令和5年度に「スタートアップ」として体制構築や生物調査、環境改善の試行実施。また、貴重な里海づくりの場として、魅力あるこの場所を「なにわCHISHIKI浜」と名付けた。

【課題】

- 大阪湾は人工護岸が多く、生物の生息に適した海岸や海との触れ合いの場が少ない。
- 大阪湾の環境資源が十分に活かされていない。

保全と活用・好循環形成に向けた将来ビジョン

なにわCHISHIKI浜

将来像にもとづき、干潟の保全・再生や環境学習の場として取り組む<将来像>

なにわCHISHIKI浜

干色 × 知識

豊かな生物層と多様な取組が生まれる場所 × 環境学習や研究の知見が集積する場所

都市部と自然を結ぶ好循環

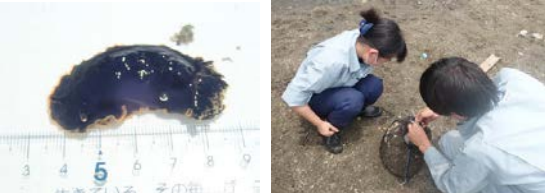
大阪都市部

おおさか 里海応援キャンペーン

- 都市部の水辺施設で大阪湾海産物を用いたBBQ体験
- 大阪湾の魅力を感じることができるプログラムの実施・百貨店での子ども向けイベント・TVなどの魅力発信

活動地名 大阪府大阪市/堺市

R6年度モデル事業における取組内容および成果

【なにわCHISHIKI浜】 生物生息環境調査	【なにわCHISHIKI浜】 里海づくり活動	【都市部と大阪湾を繋ぐ】 We Love 大阪湾で生きもののおうちを作るう！	【都市部と大阪湾を繋ぐ】 大阪湾のお魚でプランクBBQ体験教室
有識者・関係機関と連携した生物生息空間の創出・生息環境の調査  【成果】 ヤドカリ・カニなどの甲殻類やアサリなどの貝類の生き物などの生息場としての機能が確認された。また、74種類の生物種の生息を確認しており、中には準絶滅危惧種となる生物も複数確認された。	大学生や漁業関係者などの関係機関が連携し、里海づくり（海ごみ拾い、耕耘作業、生物調査、生き物の住み家の設置）を実施  【成果】 学生ボランティアや漁業者等との連携体制を構築。海ごみの撤去や干潟の環境改善で、体験学習の場として活用できる環境を整えた。	都市部(百貨店)で、「大阪湾」の魅力を感じることができるプログラムの開発、実施  【成果】 大阪湾に親しみの薄い都市部の住民に大阪湾の魅力が伝わった。子どもたちが生き物のおうちを作り、実際に「なにわCHISHIKI浜」に設置することで、大阪湾から離れた都市部でも里海づくりに貢献することができた。	大阪湾で水揚げされた海産物をシェフ監修のもとでメニュー考案し、都市部の水辺施設でプランクBBQ体験を実施  【成果】 体験を通じて大阪湾の魚が美味しいということを知ってもらい、大阪湾の里海づくりについて応援したいという機運の醸成に繋がった。

今後の課題および取組方針

- アサリなどの多様な生き物に適した生息環境への改善や調査方法の改善が課題。引き続き、さらなる連携体制の充実や里海づくり活動の継続・拡大、より多くの人を対象とした里海体験の機会の創出をめざす。
- 若者世代や沿岸部以外の住民における大阪湾への関心・愛着が低いことから、多様な主体と連携して持続的な都市部と大阪湾を繋ぐ活動などを検討し、大阪湾への関心や保全活動への参画促進をめざす。

令和6年度令和の里海づくりモデル事業を実施しました。海の万博”が開催される大阪湾奥部にある貴重な干潟を

「なにわちしきのはまCHISHIKI 浜」と名づけ、生物生息環境調査、里海づくり活動、都市部と大阪湾をつなぐイベント等を開催してきました。

